



2020 (令和2) 年 **新年号** No.46

会報

シルバー伊豆の国



写真提供：藤井惣雄

自主・自立・共働・共助

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

〒410-2211 伊豆の国市長岡338番地の3

TEL 055-948-9526 **FAX** 055-948-9682

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/izunokuni/>



QRコードを使って携帯・スマートフォンでホームページを見てください。

新年の

ごあいさつ



理事長

橋本五十夫

明けましておめでとうございませう。皆様方におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素から伊豆の国市シルバー人材センターに対しまして、市当局をはじめ関係機関や各事業所、市民の皆様方には格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風十九号で記録的な大雨による狩野川本流の氾濫を食い止めた一方で、水位上昇のため支流から本流へ排水しきれず内水被害が発生し、被災された地区の方々にお見舞い申し上げます。

本年は、天皇御即位二年目、東京オリンピックでは陛下の開会宣言が想定されており、大変めでたく賑やかな年になります。

伊豆市でも、伊豆ベロドロームで自転車競技が開催されることにより国内外の観光客が伊豆の国市を訪れるることでしょう。

長岡の体育館では、オリンピックの方々がオリンピックの事前合宿を行います。当シルバーでも何かお手伝いができることがあれば貢献したいものです。

シルバー人材センターに所属されている六十五歳以上の高齢者は健康で活発な社会活動をされている方がほとんどです。地域に貢献するシルバーとして、介護、福祉分野、子育ての補助的業務等々、今まで培ってきた経験を活かした仕事ぶり、また増え続けている空き家への対応など、これから期待される分野です。

一方、会員数は五二八名、前年度

とほぼ同じ人数で、平均年齢は七十二歳となっております。会員の拡大として近隣の方々、親戚、知人には是非声を掛けて入会を勧めていただくようお願いいたします。

次に、売上実績については、前年度を上回り三億円を達成できる見通しです。局長以下、優れた経験豊かな職員にも恵まれ感謝申し上げますと存じます。

安全就業につきましては、安全委員会を中心に取り組んでいます。事故ゼロを目指し、決められた事を自分自身で実行するしかありません。

さて、シルバー事業運営にあたり重要な事は、会員皆様の自主性、自発性でありセンターの行事、総会、奉仕作業、全体会議、新年会：等々積極的に参加して下さいです。

結びにあたりこの一年、皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年の

ごあいさつ



伊豆の国市
市長
小野登志子



新年あけましておめでとうござい
ます。

伊豆の国市シルバー人材センター
の会員の皆様には、お健やかに令和
二年の新春をお迎えのことと、心か
らお慶び申し上げます。

また、日頃より狩野川堤防や河川敷
の清掃、交通安全街頭広報への出役
など地域に根付いた積極的な活動に、
心より敬意と感謝の意を表します。

昨年十月十二日に上陸した台風十
九号に、昭和三十三年の狩野川台風
の恐怖を思い出された方も多かった
のではないでしょうか。暴風そして
豪雨、市内の避難所には多くの人が

詰めかけ、避難者自らが積極的に行
動しました。非常災害時では、自助、

共助、公助が重要とされており、互
いに助け合うことの大切さを、再認
識させられました。まさしく、シル
バー人材センターの基本理念である
「自主・自立」「共働・共助」に通じ
るものです。伊豆の国市では、広い
範囲に大きな被害がもたらされ、国
の激甚災害の指定がなされました。

現在、なお生活再建のため、ご苦勞
をされている皆様が一日も早く安心
して暮らせる日々に戻ることができ
ますよう、市として支援、復旧に努
めてまいります。そして、この台風
十九号を教訓に今後とも防災対策に
取り組んでいく所存です。

さて、伊豆の国市シルバー人材セ
ンターにおかれましては、新理事長
を迎え、新たなステージへ躍進され
る年と存じます。引き続き、新規就
業先の開拓、行政と連携した家事援
助事業、会員の技術向上のための研
修や講習会の開催、また地域社会へ

の奉仕活動に励んでいただきたくお
願い申し上げます。

また、少子高齢化や人手不足が深
刻化される中、特に、労働力不足で
ある介護や育児の分野での就労や地
域課題を地域の高齢者を活用して解
決する取り組みが必要となってきた
おります。行政でも民間でもないシ
ルバー人材センターにしかできない
事業の掘り起こしや、豊かな経験と
知識を活かし地域で活躍する人材の
育成など積極的な社会参加を期待し
ております。

伊豆の国市としては、誰もが笑顔で
安心して暮らしていける地域社会の
実現に向け、高齢者の生きがいづくり
、社会参加の推進のための施策づく
りや就労支援につとめてまいります。

結びに、伊豆の国市シルバー人材
センターのご活動に敬意を表すると
ともに、益々のご発展と、会員皆様
のご健勝、ご多幸を心から祈念申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

委員会報告

就業開拓(開発)委員会

委員長 黒津 善二



委員会は会員の方々に幅広く仕事を提供して行く事を目的として

しております。上半期では、八月五日、八日、九日に県シ連の太田推進員、水野局長と共に、社会福祉協議会やABB日本ベレー、TOSSEI、ぬくもりの里等を訪問し、就業開拓及び会員拡大支援の働きかけをしてきました。

九月二十五、二十六の二日間、国の高齢者活用人材育成事業を活用した講習会を行いました。旧大仁市民会館敷地内で樹木等を使い雑木の「剪定講習会」を伊豆市シルバー人

材センターと合同で開催し、十六名の皆様が参加をしました。

また、十月二十九日～十一月六日にかけて「子育て支援講習会」を、伊豆の国市との協働により、大仁くぬぎ会館で開催し、八名の市民の皆様が参加しました。

適正就業委員会

委員長 小澤 貞彦



十月一日からの消費税の引き上げつきまして、標準税率十％との段階から継続発注者等に働きかけを致しました。

十月四日からの県の最低賃金の改正(八八五円)に關しまして、引き上げ依頼はしていますが、請負・委任等が適用除外となっており、消費税率アップや来年度四月からの事務費率改定(十％)もあることから、

これらの点を十分留意し完全実施の判断をする予定であります。

また、公平な就業機会の提供につきまして、現状の五年ルールの検討をおこなっています。

普及啓発推進委員会

委員長 石川 征夫



新年号の原稿依頼にご協力いただき無事発行する事が出来ました。

我々は会員への情報提供と地域のふれあいの機会を持つことで、シルバー人材センターの普及・啓発を推進します。

今年の地域奉仕作業は十月五日(土)に三地区合同堤防・河川敷ごみ拾いを会員のご協力が無事行いました。

十月十九日(土)にふれあい広場で県一斉シルバー啓発運動や多くの

市民にPR活動を実施する予定でしたが、台風の影響もあり、中止となりました。

また、今年度はホームページを適時変更していきます。

安全就業委員会

委員長 小池 成治



委員長として二年目、事故がなかなかゼロにならず苦悩の

日々を送っています。今年も安全パトロールを三回実施し、昨年気になっていた目の保護について、みなさん眼鏡、サングラス等掛けている姿を見ることができ是非継続を願うばかりです。

また、今年度新たな取組として「安全標語」の募集を行いました。これは大仁清掃センターで毎日就業前全員で唱和していて、安全意識を高揚させる効果があると思います、他職場に

合った標語を募り良い作品を選出し、各職場で就業前にリーダーの基、唱和してもらい、安全喚起をしてもらうねらいです。来年度からは是非活用ください。

全国シルバー人材センター オリジナルキャラクター

チエブクロー

です。



「知恵袋」と「ふくろう」を合わせたキャラクターです。

経験豊富な高齢者の知恵が集まるシルバー人材センターということを、この二つのモチーフで表しています。

「チエブクロー」は優しく真面目で、とても物知りです。

ふくろうは、欧州では知恵の象徴と言われるだけあって、みんなの相談役にぴったりです。

危険予知

長岡地区 佐々木公司



シルバー人材センターに平成二十年度に入会しました。

現在、リバーサイドパーク公園内管理業務を担当しています。

業務内容は樹木剪定及び消毒、テニスコート（五面）砂撒き及び人工芝損傷部分の補修、各広場の芝刈り。

特に夏時季は芝生の育成が良く一ヶ月に七〜八回の芝刈りを行っています。また、最近芝生にクローバーが多く発生していますので、除去するため各種の除草剤を使用しています。

★シリーズ★



を調査している段階です。

また、冒険広場にはいろいろの遊具が設置してありますので、大勢の子供達が遊びに来るので芝刈り作業の際には十分注意しています。

芝刈りの作業にはハンマーナイフ型の芝刈り機を使用していますが、小石散乱の恐れがあるため、フェンダー先端に木製カバーを取り付け、小石散乱防止に努めています。

シルバーデビュー

葦山地区 近田 映子



三十数年ぶりに故郷に戻り、一念発起して職探しを試みまし

たが、還暦の壁は高く、何処も門前払いの状態で、仕方なく諦めて七年が経過しました。そんな時に、知人がシルバー人材センターの説明会に参加するというので軽い気持ちで同行しました。幅広い年齢層の方たちが、

元気に活動されていることを知って驚き、直ちに会員登録させていたいただきました。

程無くして、労働初心者の私の能力を汲みつつ、近所のアパートの週一回の清掃作業を紹介していただき、十月からは広報仕分け作業にも参加させていただいています。健康に留意しつつ頑張っていきたいと思えます。

シルバーとの出会い

長岡地区 杉山 明



早いもので、退職後郷里に戻り六年。サラリーマン生活から

無職へ、このギャップが大きく、やることのない焦りの中にいました。そんな折、蛭ヶ島公園を散歩中、茶屋のスタッフから声を掛けられて、即、仲間に入れてもらい、今に到っています。軟着陸できたのも、多く



の皆さんと知り合えたおかげです。
茶屋は、観光客、東部近隣の方や地元の人が主に訪れてくれて、葦山の田園風景の中、富士を見ながら静かな時を過ごせることで喜ばれております。これからも皆さんに喜ばれる落ち着いた場になる様、スタッフ一同お茶を用意してお待ちしています。

感謝の気持ちをまごころに

大仁地区 鈴木 春美



まごころ市場のオープンからお世話になっています。当時

は毎日が行列で頭を上げる時間もないほど忙しく大変でしたが、お客様に「また来るね」と声をかけていただくことも多くなり、励みになりました。仲間にも恵まれ大変な時は、皆で話し合い、助けてもらい乗り越えられたので、長く続けられたと感

謝で一杯です。いくつになっても働ける場所があることは心身共に良い事なので、これからも仲間と支え合いながら楽しく仕事ができる様に、そしてお客様にも喜んでいただける様に、日々笑顔で頑張りたいと思います。

定年退職後の仕事

葦山地区 大塚 重雄



私は、会社を定年退職して、すぐにシルバー人材センターに

登録し、最初にトマトの収穫、管理という仕事につきました。十年という月日が長くもあり、短かった様にも思います。手術のために仕事をやめ、家事・畑の草取り等をしていましたが、体調も良くなり、改めてシルバー人材センターに行き仕事の紹介を頂き、大仁清掃センター、葦山ライオンセンターで働くことが出来ま



した。シルバー人材在職十年表彰も頂き、これからも色々な仕事に挑戦したいと思います。長生きをして、孫の成長を見守って行き、孫と共に、私も成長していきます。

上半期の実績

令和元年度会員数及び事業実績

1 会員の登録状況（平成31年4月1日～令和元年9月30日）

（単位：人）

	前年度末 会員数	当年度 入会員数	当年度 退会員数	当年度 会員数	就業実人員	就業率
男	356	22	27	351	297	84.6%
女	170	24	17	177	157	88.7%
計	526	46	44	528	454	86.0%

2 年齢階層・性別人員（令和元年9月30日現在）

（単位：人）

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合 計
男	15	97	120	82	37	351
女	14	60	70	30	3	177
計	29	157	190	112	40	528

3 契約金額（平成31年4月1日～令和元年9月30日）

【請負・委任】

（単位：円）

区 分	配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計
公 共 事 業	75,497,861	5,863,218	6,143,293	87,504,372
一 般 企 業 等	42,887,240	1,380,533	3,402,188	47,669,961
個 人 ・ 家 庭	12,168,883	2,471,065	974,088	15,614,036
独 自 事 業	469,674	413,300	36,896	919,870
合 計	131,023,658	10,128,116	10,556,465	151,708,239
前年度同期対差	+ 4,579,935	+ 3,228,369	+ 433,953	+ 8,242,257

【派 遣】

（単位：円）

区 分	賃 金	手 数 料 等	合 計
	8,052,446	2,196,961	10,249,407
前年度同期対差	+ 2,953,155	+ 859,056	+ 3,812,211

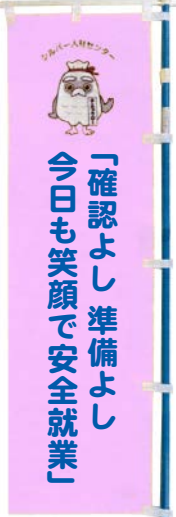
事務局からのお知らせ

会員新年会の開催

- ▼日時 令和2年1月17日(金)
受付開始 午後5時30分
開宴 午後6時
- ▼会場 ニュー八景園(長岡)
- ▼会費 5千5百円
- ▼高齢者ドライバーのための動画
K(危険)Y(予測)T(トレーニング)
研修の開催
- ▼日時 令和2年1月23日(木)
①10時30分〜12時
②13時30分〜15時
- ▼会場 伊豆の国市役所 伊豆長岡
庁舎3階 第1・2会議室
- ▼対象者 日頃、自動車を運転する方
概ね65歳以上
- ▼定員 午前・午後10名ずつ
合計20名(要申し込み)
- ※申し込み
伊豆の国市シルバー人材センター
055(948)9526

「安全就業推進標語」の入選者決定

会員を対象に昨年10月のシルバー月間を利用し募集を致しました安全就業推進標語につきまして、応募をいただいた32作品の中から次の皆様の入選が決まりました。

			
最優秀 室伏富治氏 (葦山地区)	優秀 杉山末吉氏 (長岡地区)	佳作 榎本昭雄氏 (葦山地区)	佐藤善作氏 (大仁地区)

「令和元年分のシルバー配分金の確定申告・住民税の申告について」

●収入が年金と配分金の方。

(65歳以上の方)	年金収入	-	120万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	65万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	
(65歳未満の方)	年金収入	-	70万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	65万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	

★Bが20万円を超える方、Cが28万円以上の方は住民税の申告又は確定申告が考えられますので、市役所税務課(055-948-2918)にご相談ください。

★申告会場は、伊豆の国市役所大仁支所(二階)において、令和2年2月17日(月)～3月16日(月)の間に行われます。

■シルバー人材センター団体傷害保険

保険金の種類	保険金額	保険給付対象
傷害死亡保険金	1千万円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で死亡した場合
傷害後遺障害保険金	死亡保険金の4%～100%	事故日から180日以内で、そのケガが原因で後遺障害が生じた場合
傷害入院保険金	1日5千円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき入院した場合
傷害手術保険金	5千円×所定倍率	傷害入院保険金が支払われる場合で、所定の期間内に手術を受けた場合(所定倍率は5倍、10倍)
傷害通院保険金	1日3千円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき通院した場合(90日限度)

■シルバー人材センター賠償責任保険

保険金の種類	保険金額	保険給付対象
身体傷害	1名 3千万円 1事故・期間中 1億円まで	他人身体への賠償
財物破損	1事故・期間中 1千万円まで	財物の賠償
免責金額	1万円	事故を防止する観点から設定

会員の皆様の保険加入について

シルバー人材センターは、会員が就業中に傷害などを被った場合に補償を行うシルバー人材センター団体

傷害保険と、会員が業務の遂行中に他人の身体や財物に損害を与えた場合などに補償を行う、シルバー人材センター賠償責任保険に加入しています。

ます。

その外、シルバー人材センター車両に、自動車保険を掛けています。会員の就業中に事故が発生した場合は、自己判断せず必ずシルバー人材センターにご連絡ください。

編集後記

令和二年に入り、第四十六号「新年号」発行になりました。シルバー会員の皆様と共に、健康で、いきいきと仕事を続けられる様に委員一同、今後もより良い(見たい、知りたい)会報に持って行ける様に、頑張りたいと思います。(佐藤)

伊豆の国市シルバー人材センター (令和元年12月17日現在)		
会員数		
	人数(名)	前年同月比(%)
全体	541	105.5
地区別	韮山	201
	大仁	188
	長岡	152
男	360	102.3
女	181	112.4